

九州経済圏貿易統計のポイントについて (令和5年上半期分：速報)



<対世界>

○輸出総額: 5兆2,599億円(伸率: +10.8%) ⇒ 5期連続のプラス

・順位: 2位

(順位は、昭和54(1979)年上半期以降(89期)による。以下同じ。)

・増加品目: 自動車(同+44.9%)、半導体等電子部品(同+26.6%)

○輸入総額: 5兆5,653億円(伸率: +5.9%) ⇒ 5期連続のプラス

・順位: 2位

・増加品目: 半導体等電子部品(同+44.9%)、金属鉱及びくず(同+12.8%)

○差引額: ▲3,054億円(伸率: ▲39.9%) ⇒ 3期連続の輸入超過

・順位: 64位

2023年上半期: 134.08円/ドル(2022年上半期: 121.36円/ドルと比べ10.5%の円安)

<品目別動向>

○輸出

自動車(8,935億円→1兆2,951億円、伸率: +44.9%)は、EU(310億円→1,714億円、同5.5倍)及びアメリカ(2,266億円→3,478億円、同+53.5%)向けが増加し、2期連続のプラスとなった。

また、半導体等電子部品(4,628億円→5,861億円、同+26.6%)は、韓国(1,316億円→1,872億円、同+42.3%)及び香港(1,226億円→1,495億円、同+21.9%)向けが増加し、5期連続のプラスとなった。

一方、プラスチック(2,084億円→1,631億円、同▲21.8%)は、韓国(574億円→351億円、同▲38.8%)及び中国(802億円→654億円、同▲18.5%)向けが減少し、2期連続のマイナスとなった。

○輸入

半導体等電子部品(2,115億円→3,066億円、伸率: +44.9%)は、台湾(1,583億円→2,454億円、同+55.0%)及びEU(55億円→185億円、同3.4倍)からが増加し、7期連続のプラスとなった。

また、金属鉱及びくず(4,555億円→5,137億円、同+12.8%)は、非鉄金属鉱(2,429億円→3,075億円、同+26.6%)が増加し、6期連続のプラスとなった。

一方、原油(1,611万KL→1,666万KL、同+3.4%、1兆2,698億円→1兆1,986億円、同▲5.6%)は、数量が増加したものの、価額は減少し、4期ぶりのマイナスとなった。

※ 伸率及び増加・減少は、すべて対前年同期比